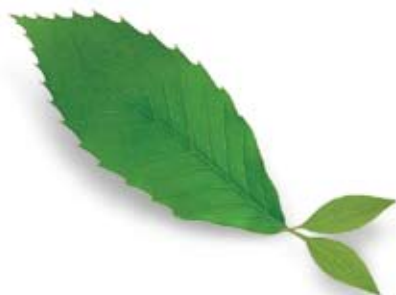


第85期 中間期

株主のみなさまへ

平成20年4月1日～平成20年9月30日



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。当社第85期中間期(第2四半期累計期間:平成20年4月1日～平成20年9月30日)の業績の概要をここにご報告申し上げます。

当中間期の連結売上高は710億4千6百万円(前年同期比12.6%増)と引き続き好調に推移しましたが、利益面では、原燃料価格の継続的な高騰を増収ならびに製品価格の改定やコストダウンでカバーしきれず、営業利益は19億8千8百万円(前年同期比14.1%減)、経常利益は23億1千8百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

純利益は、前年同期に発生した繰延税金資産の取崩し(5億4千万円)がなくなったことなどにより12億5百万円(前年同期比56.7%増)となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり7円50銭とさせていただきます。

さて、米国の金融危機に端を発した世界経済の同時減速により、わが国においても景気の低迷が長期化する恐れが強まっております。

化学業界におきましても、石化主原料のナフサ価格が急騰し、その後反落傾向に転じたものの、需要低迷が懸念されるなど、経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

当社グループは、原燃料価格や外国為替相場の動向など先行き不透明な要因はありますが、環境の変化に機敏に対応し、戦略的開発品の拡大、コストダウンの一層の推進、海外グループ各社の収益改善等を実施して業績の維持、向上に引き続き努めてまいります。

株主各位におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまりませんようお願い申し上げます。

平成20年11月

代表取締役社長

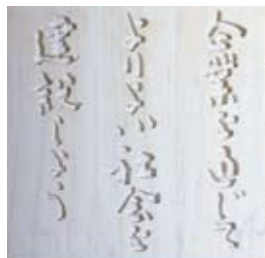
家永昌明



### ● 目次

株主のみなさまへ	1
営業の概況	3
営業成績	8
トピックス	15
株式の概況	18
会社概要	19
株主メモ	22

### ● 社是

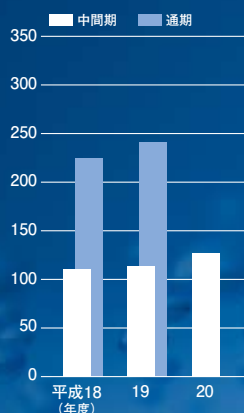


企業を通じて  
よりよい社会を建設しよう



## 界面活性剤

売上高 (単位:億円)



### 主な製品

- 紡糸・紡績油剤
- 精練・染色助剤
- 柔軟仕上剤・帯電防止剤
- ポリエチレングリコール
- シャンプー用界面活性剤
- ヘアコンディショナー用界面活性剤
- 殺菌剤
- 洗剤原料
- 乳化重合用乳化剤
- 顔料分散剤
- 製紙用界面活性剤
- 電子部品用洗浄剤

産業用界面活性剤は、生分解性に優れた洗剤原料が社会のニーズに合い、売り上げを拡大し、またポリエチレングリコールも好調に推移したことなどにより、売上高が増加しました。

繊維用界面活性剤は、炭素繊維や自動車用エアバッグおよびシートベルト用などの産業資材用繊維薬剤が需要増に伴い売上高が増加しましたが、衣料用繊維薬剤は日本の市場縮小の影響を受け、総じて低調な売上高となりました。

以上の結果、当分野全体の売上高は126億8千4百万円（前年同期比11.2%増）となりました。



ヘアケア製品に



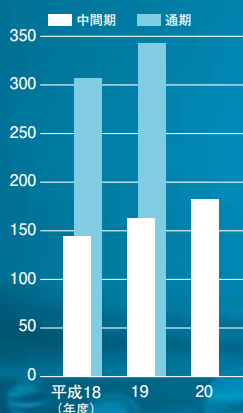
機体を軽量・強化する炭素繊維の製造に



シートベルトの製造に

## ウレタン関連製品

売上高 (単位:億円)



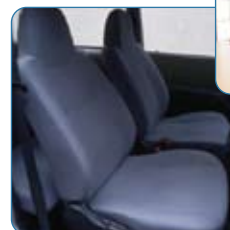
### 主な製品

- ポリウレタンフォーム原料
- 自動車内装表皮材原料
- 自動車用遮音材原料
- ポリウレタン断熱材原料
- 人工皮革用ウレタン樹脂溶液
- ポリウレタンエラストマー原料
- ポリウレタンシーリング材原料
- ウレタン樹脂エマルジョン
- 印刷インキ用ウレタン樹脂

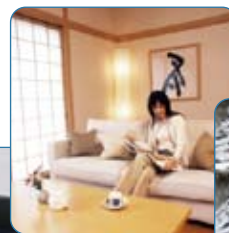
ポリウレタンフォーム原料は、円高とアジア市況の悪化などで輸出は減少しましたが、国内市場が堅調に推移したことに加え、新規高機能性ポリウレタンフォーム原料が市場浸透により売り上げを伸ばしたことなどにより、売上高が増加しました。

ウレタン樹脂は、自動車内装表皮材用ウレタンビーズが引き続き国内・海外ともに売上高を大きく伸ばしたほか、特殊グラビアインキ用ウレタン樹脂も海外で好調に推移したことにより、大幅な売り上げ増となりました。

以上の結果、当分野全体の売上高は182億3千7百万円（前年同期比12.2%増）となりました。



自動車シートに



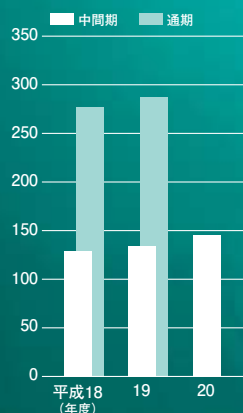
ソファーに



スニーカーの鞋底に

## 親油系高分子薬剤

売上高 (単位:億円)



### 主な製品

- 複写機・プリンター用トナーバインダー
- 複写機・プリンター用重合トナー中間体
- 潤滑油添加剤
- 燃料油用流動性向上剤
- ラミネート用接着剤
- 感圧・構造用接着剤
- 電子産業用・医療機器用接着剤

情報機器関連製品は、粉碎トナー用バインダーおよび重合トナー用中間体ポリエステルビーズともに、需要の減少や顧客の品種切替えによる在庫調整などがあり、売上高は横ばいとなりました。

潤滑油・機械関連製品は、自動車無段変速機用の潤滑油添加剤の需要が好調に進展したことなどにより売り上げを伸ばしました。

コーティング・接着関連製品は、医療機器用接着剤やガラス繊維用接着剤などの需要が好調に推移したことにより、売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当分野全体の売上高は145億9千2百万円（前年同期比8.4%増）となりました。



複写機のトナーに



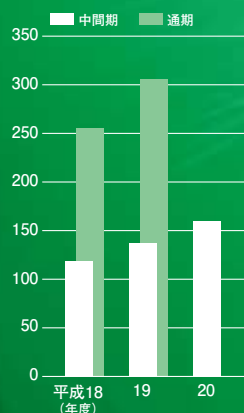
軽油の添加剤に



人工臓の接着剤に

## 親水系高分子薬剤

売上高 (単位:億円)



### 主な製品

- 紙おむつなど衛生材料用高吸水性樹脂
- 諸工業用高吸水性樹脂
- 都市廃水処理用高分子凝集剤
- 産業廃水処理用高分子凝集剤

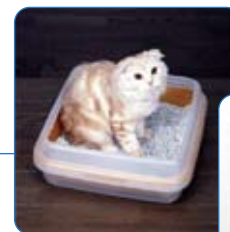
高吸水性樹脂は、紙おむつなどの衛生材料用の需要が大きく拡大したことに伴い、売り上げを大幅に伸ばしました。

水処理関連製品は、カチオン系高分子凝集剤の拡販や製品価格の改定により、売上高が増加しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は159億9千3百万円（前年同期比16.7%増）となりました。



紙おむつに



猫砂に

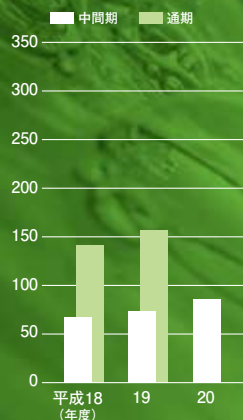


廃水の微粒子除去に



# 特殊化学品

## 売上高 (単位:億円)



## 主な製品

- 低分子量ポリエチレン
- プラスチック用帯電防止剤
- 樹脂改質剤
- UV・EB硬化樹脂
- ホットメルト接着剤
- コンデンサ用電解液
- コンクリート防水剤
- ウレタン樹脂用触媒
- エポキシ樹脂用触媒
- 電子部品製造用薬剤
- デザインモデル作製用盛り付け樹脂

高分子改質剤関連製品は、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤が好調に推移しました。また、自動車塗料用改質剤も好調に推移し、順調に売り上げを伸ばしました。

電気・電子関連製品は、アルミ電解コンデンサ用電解液は前年並みに推移しましたが、シリコンウエハ製造用薬剤が需要の拡大により、大幅に売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当分野全体の売上高は86億4千万円（前年同期比17.5%増）となりました。



デジタル家電製品に

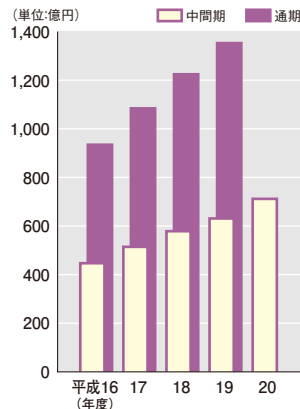


電子部品の搬送材料に

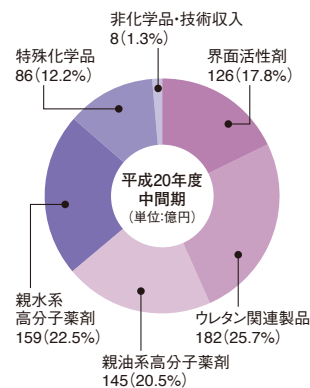


自動車のデザインモデルに

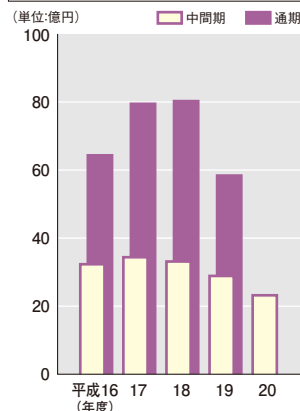
## 売上高の推移



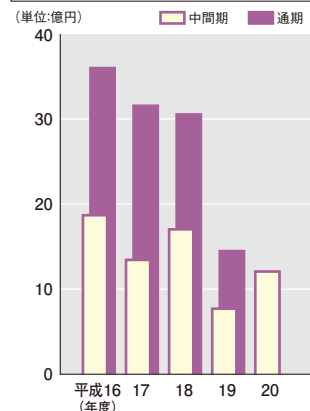
## 分野別売上高



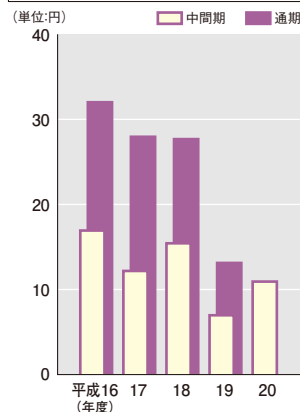
## 経常利益の推移



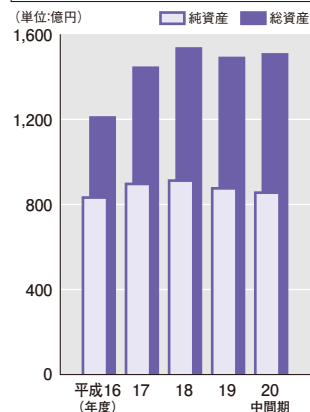
## 当期(中間期)純利益の推移



## 1株当たり当期(中間期)純利益の推移



## 総資産と純資産の推移



第2四半期貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期末 (平成19年9月30日現在)	当第2四半期末 (平成20年9月30日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	70,580	74,011	71,008
現金及び預金	13,583	9,974	11,482
受取手形及び売掛金	37,125	40,253	38,932
たな卸資産	17,912	21,212	18,442
繰延税金資産	991	1,226	1,152
その他	995	1,374	1,028
貸倒引当金	△28	△30	△29
固定資産	84,587	76,347	77,709
有形固定資産	51,812	52,632	51,589
建物及び構築物	13,713	15,436	14,037
機械装置及び運搬具	22,317	23,319	24,121
土地	7,829	7,703	7,808
建設仮勘定	5,912	4,295	3,621
その他	2,038	1,878	2,000
無形固定資産	1,353	1,132	1,224
投資その他の資産	31,421	22,583	24,894
投資有価証券	29,876	19,715	22,632
長期貸付金	50	10	17
繰延税金資産	353	1,784	1,035
その他	1,214	1,130	1,266
貸倒引当金	△73	△57	△57
<b>資産合計</b>	<b>155,167</b>	<b>150,359</b>	<b>148,717</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	38,681	44,689	39,715
支払手形及び買掛金	27,477	30,016	26,986
短期借入金	1,458	2,308	1,867
一年以内返済予定長期借入金	449	1,165	980
未払費用	3,050	2,823	2,636
未払法人税等	754	1,192	587
賞与引当金	1,369	1,355	1,703
役員賞与引当金	35	39	60
設備関係支払手形	1,834	2,927	2,310
その他	2,252	2,862	2,582
固定負債	24,091	20,138	21,446
社債	10,000	10,000	10,000
長期借入金	5,126	3,495	4,275
繰延税金負債	1,714	—	108
退職給付引当金	5,364	4,905	5,113
役員退職慰労引当金	1,087	847	1,123
その他	798	890	824
<b>負債合計</b>	<b>62,772</b>	<b>64,828</b>	<b>61,161</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	81,475	81,695	81,321
資本金	13,051	13,051	13,051
資本剰余金	12,200	12,197	12,198
利益剰余金	61,893	62,120	61,742
自己株式	△5,668	△5,672	△5,670
評価・換算差額等	8,171	1,401	3,694
その他有価証券評価差額金	7,265	1,754	3,340
為替換算調整勘定	906	△352	353
少数株主持分	2,747	2,434	2,539
<b>純資産合計</b>	<b>92,394</b>	<b>85,531</b>	<b>87,555</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>155,167</b>	<b>150,359</b>	<b>148,717</b>

第2四半期(累計)損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	前期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
売上高	63,110	71,046	135,214
売上原価	51,444	59,544	111,063
<b>売上総利益</b>	<b>11,666</b>	<b>11,502</b>	<b>24,151</b>
販売費及び一般管理費	9,352	9,513	18,858
<b>営業利益</b>	<b>2,314</b>	<b>1,988</b>	<b>5,293</b>
営業外収益	800	604	1,469
受取利息	(70)	(45)	(140)
受取配当金	(173)	(187)	(309)
持分法による投資利益	(192)	(86)	(511)
為替差益	(86)	(75)	(—)
その他	(276)	(210)	(507)
営業外費用	226	274	926
支払利息	(107)	(157)	(279)
為替差損	(—)	(—)	(394)
その他	(118)	(116)	(252)
<b>経常利益</b>	<b>2,888</b>	<b>2,318</b>	<b>5,836</b>
特別利益	—	—	3
特別損失	158	215	1,319
<b>税金等調整前第2四半期純利益</b>	<b>2,729</b>	<b>2,103</b>	<b>4,519</b>
法人税、住民税及び事業税	1,698	868	2,822
少数株主利益	261	29	250
<b>第2四半期(当期)純利益</b>	<b>769</b>	<b>1,205</b>	<b>1,446</b>

第2四半期(累計)キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	前期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前第2四半期(当期)純利益	2,729	2,103	4,519
減価償却費	3,968	3,917	8,508
減損損失	—	—	240
持分法による投資損益(△利益)	△192	△86	△511
資産増減等	△50	△1,628	△1,406
法人税等の支払額	△1,094	△325	△2,362
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,360</b>	<b>3,979</b>	<b>8,987</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
固定資産の取得・売却	△4,686	△4,349	△8,572
貸付・回収等	△1,794	△338	△2,482
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,480</b>	<b>△4,688</b>	<b>△11,055</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
配当金の支払額	△827	△827	△1,654
自己株式の取得・売却	△11	△3	△14
借入・返済等	222	△109	348
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△615</b>	<b>△941</b>	<b>△1,320</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△4	△416
現金及び現金同等物の増加額	△1,703	△1,653	△3,804
現金及び現金同等物の期首残高	15,287	11,482	15,287
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	—	145	—
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	13,583	9,974	11,482

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

第2四半期(累計)株主資本等変動計算書(連結)

(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
前期末残高	13,051	12,198	61,742	△5,670	81,321
当第2四半期中の 変動額					
剰余金の配当			△827		△827
第2四半期純利益			1,205		1,205
自己株式処分差益		△1			△1
自己株式の取得				△8	△8
自己株式の処分				6	6
株主資本以外の項目の 当第2四半期中の 変動額(純額)					
当第2四半期中の 変動額合計	—	△1	377	△1	374
当第2四半期末残高	13,051	12,197	62,120	△5,672	81,695

評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
3,340	353	3,694	2,539	87,555
				△827
				1,205
				△1
				△8
				6
△1,586	△706	△2,292	△105	△2,398
△1,586	△706	△2,292	△105	△2,024
1,754	△352	1,401	2,434	85,531

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

第2四半期貸借対照表(単体)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期末 (平成19年9月30日現在)	当第2四半期末 (平成20年9月30日現在)	前期末 (平成20年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	64,508	67,110	64,031
現金及び預金	10,737	7,880	8,374
受取手形	227	183	196
売掛金	31,529	33,175	32,826
有価証券	—	100	100
たな卸資産	12,087	14,224	12,006
繰延税金資産	738	913	913
その他	9,215	10,661	9,642
貸倒引当金	△26	△29	△28
固定資産	75,318	70,377	70,099
有形固定資産	34,530	37,437	35,181
建物	7,374	8,866	7,239
機械装置	15,216	14,791	14,886
土地	7,133	7,133	7,133
建設仮勘定	1,112	3,203	2,403
その他	3,693	3,441	3,518
無形固定資産	449	432	405
投資その他の資産	40,338	32,507	34,511
投資有価証券	16,732	10,541	11,682
関係会社株式・出資金	19,645	17,472	18,664
その他	4,162	4,551	4,222
貸倒引当金	△202	△57	△57
資産合計	139,827	137,487	134,130
<b>負債の部</b>			
流動負債	35,714	39,896	35,609
支払手形	591	627	513
買掛金	27,144	28,689	26,923
一年以内返済予定長期借入金	57	—	50
未払費用	2,218	2,153	1,886
未払法人税等	95	843	227
賞与引当金	1,145	1,121	1,399
役員賞与引当金	32	33	55
その他	4,427	6,427	4,552
固定負債	19,003	16,696	17,099
社債	10,000	10,000	10,000
繰延税金負債	1,714	—	—
退職給付引当金	5,364	4,905	5,113
役員退職慰労引当金	1,087	847	1,123
その他	837	943	862
負債合計	54,717	56,593	52,708
<b>純資産の部</b>			
株主資本	77,841	79,144	78,080
資本金	13,051	13,051	13,051
資本剰余金	12,200	12,197	12,198
利益剰余金	58,259	59,569	58,501
自己株式	△5,668	△5,672	△5,670
評価・換算差額等	7,267	1,749	3,341
純資産合計	85,109	80,894	81,421
負債及び純資産合計	139,827	137,487	134,130

第2四半期(累計)損益計算書(単体)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	前期 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
売上高	46,917	53,032	100,377
売上原価	38,693	44,080	82,921
売上総利益	8,223	8,952	17,455
販売費及び一般管理費	7,038	7,112	14,030
営業利益	1,184	1,840	3,425
営業外収益	1,614	1,142	2,611
受取利息	(113)	(70)	(217)
受取配当金	(1,102)	(686)	(1,631)
為替差益	(—)	(90)	(—)
その他	(398)	(294)	(762)
営業外費用	170	127	735
支払利息	(17)	(18)	(36)
為替差損	(45)	(—)	(461)
その他	(107)	(108)	(238)
経常利益	2,628	2,854	5,301
特別利益	—	—	2
特別損失	571	201	1,464
税引前第2四半期純利益	2,057	2,653	3,839
法人税、住民税及び事業税	1,192	758	1,904
第2四半期(当期)純利益	864	1,895	1,934

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

[四半期財務諸表の利用にあたって]

当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

当第2四半期と前年同期では適用される会計基準が異なりますが、参考情報として前年同期の情報を記載しております。





稼働を開始した「桂研究所」

## 桂研究所の稼働

研究開発力強化のため、かねてから桂イノベーションパーク（京都市西京区）内に建設を進めてきた「桂研究所」が本年6月に完工し、8月に稼働を開始しました。



6月18日に行われた竣工式

「桂研究所」は収容人員約100名、敷地面積約6,000m<sup>2</sup>、延床面積約6,500m<sup>2</sup>の規模です。クリーンルームをはじめ最新鋭の研究開発を行う設備のほか、電動いす席を設けた120名収容のホールや当社製品を紹介する「インフォメーションギャラリー」など、隣接する京都大学桂キャンパスをはじめ近隣の大学や研究機関の方々とのコミュニケーションを図る場も充実させています。また、環境にも配慮し、屋上緑化に加え、太陽光発電パネルも近々設置する予定です。

「桂研究所」では、電子材料・バイオテクノロジー・環境分野での新製品の創製や新プロセス・ナノ加工技術など将来技術の創製、永久帯電防止剤など高機能製品群の拡充を中心に研究開発を行います。

本社にある研究所と一体運営のもと、京都大学や大阪大学、関西大学に近いという地の利を活かし、ネットワーク型研究開発によって当社の研究開発をさらに加速させていきます。



電動いす席を設けたホール



屋上に設けた緑地

## 三洋化成精細化学品（南通）有限公司の能力増強

中国における当社の連結子会社「三洋化成精細化学品（南通）有限公司」は、産業用界面活性剤や紙・塗料用添加剤の拡販が見込まれることから、本年11月に増設に着手し、生産能力の増強を進めています。

また、本年初めに本格的な活動を開始した「三洋化成（上海）貿易有限公司」が、中国での積極的なマーケティングを進めており、当社グループの中国ビジネスは着実に発展しています。今後もお客様のニーズにタイムリーに対応し、生産設備の拡大を図ってまいります。



「三洋化成精細化学品（南通）有限公司」



「三洋化成精細化学品（南通）有限公司」のブランド

## 近畿化学協会の「化学技術賞」を2年連続で受賞

当社研究員3名が「ポリオレフィン用高分子型帯電防止剤の開発」に関し、社団法人近畿化学協会の第60回「化学技術賞」を受賞しました。同賞は工業化への寄与が著しい化学に関連する研究・技術に贈られる賞で、当社は、昨年に続き、2年連続での受賞となりました。

同技術を使った製品は、静電気ショックを抑制する電子部品搬送容器やほこりが付着しにくい掃除機向けなどで売り上げを伸ばしており、当社事業の新しい柱の一つとして期待している製品です。



「化学技術賞」授賞式



「化学技術賞」の記念品

## 心不全用臨床検査薬の開発

当社はスイスのロシュとライセンス契約を締結し、心不全の診断・病態把握用臨床検査薬『スフィアライト proBNP』を開発し、和光純薬工業（株）から本格販売を開始しました。

新製品は、当社独自の化学発光酵素免疫測定法を用いたもので、心不全の診断・病態把握に必要な測定を短時間で行うことができます。

当社では、心不全のほか、癌など約20項目の臨床検査薬を『スフィアライト』シリーズとして販売し、好評をいただいています。



「スフィアライト proBNP」



「スフィアライト」シリーズを用いた検査試験

## 危険物事故防止対策論文で「消防庁長官賞」を受賞

当社京都工場の社員3名の連名による危険物事故防止対策論文「危険物事故防止とわが社の教育訓練の取り組み～徹底と相互啓発から導く見える化教育訓練～」が、全国102編の応募の中から最高位の「消防庁長官賞」に選ばれ、表彰を受けました。

受賞論文では、生活居住エリアに位置する京都工場の最も重要な活動である防災について、日ごろから実施している視覚体験教育訓練や5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）、相互啓発などを具体的に紹介しました。



拝受した賞状



「消防庁長官賞」受賞式

## ●発行済株式総数および株主数（平成20年9月30日現在）

発行済株式総数	117,673千株
株主数	8,620名

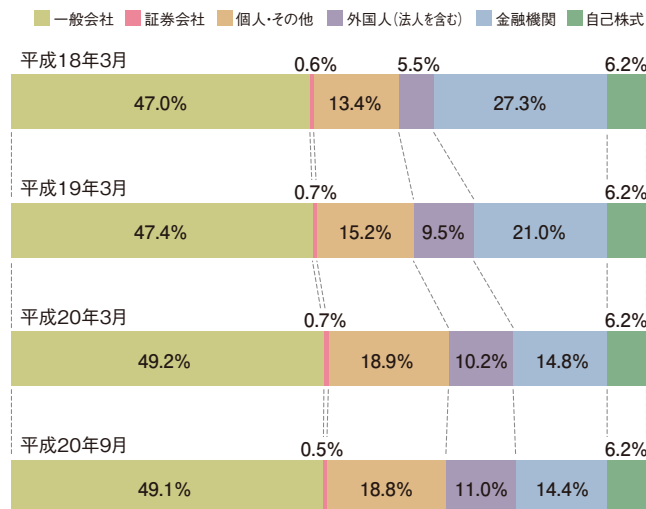
(注)1千株未満は切り捨て(以下同じ)。

## ●大株主（平成20年9月30日現在）

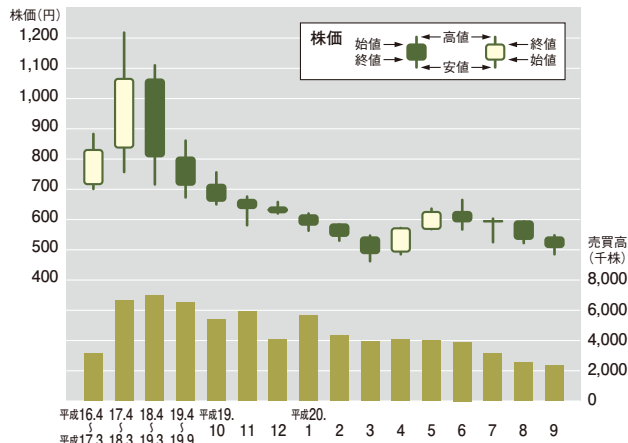
株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
豊田通商株式会社	21,431	18.2
東レ株式会社	19,133	16.3
株式会社日本触媒	5,529	4.7
新日本石油株式会社	5,306	4.5
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	3,947	3.4
全国共済農業協同組合連合会	2,546	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	2,105	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,034	1.7
三洋化成従業員持株会	1,830	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	1,469	1.2

(注)上記のほかに、自己株式7,324千株があります。

## ●株主構成（所有者別持株比率）の推移（平成20年9月30日現在）



## ●株価・売買高の推移



(注) 1. 株価・売買高は東京証券取引所によるもの。  
2. 平成16年4月～平成19年9月の売買高は平均。

## 会社概要

## ●概況 (平成20年9月30日現在)

創立……………昭和24年11月1日  
資本金……………13,051,179,427円  
発行可能株式総数……………257,956,000株  
発行済株式総数……………117,673,760株  
従業員数……………1,276名(連結 1,753名)

## ●役員 (平成20年9月30日現在)

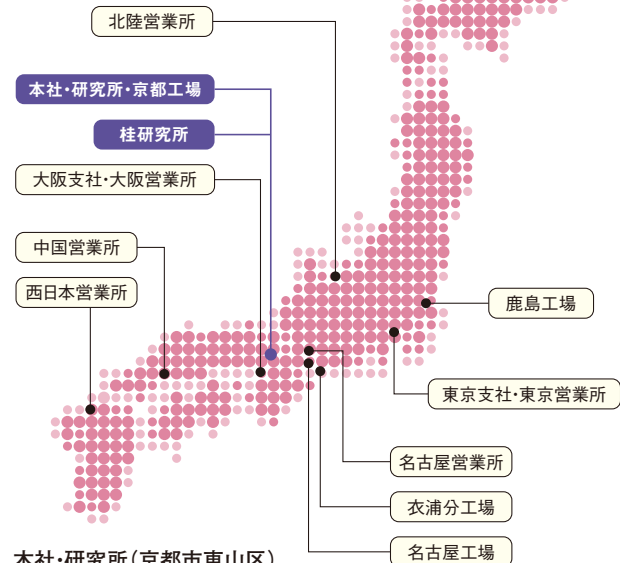
取締役		常務執行役員……………	宇佐美 健
取締役会議長……………	松井 英樹	常務執行役員……………	安藤 孝夫
代表取締役社長		執行役員……………	吉野 隆
兼執行役員社長……………	家永 昌明	執行役員……………	川井 実
代表取締役		執行役員……………	東 寛
兼執行役員副社長……………	増田 房義	執行役員……………	別所 利治
取締役 兼常務執行役員……………	山本 嘉英	執行役員……………	堀井 啓右
取締役 兼常務執行役員……………	本庄 政昭	執行役員……………	和多田 修
取締役 兼常務執行役員……………	平川 一幸		
取締役 兼常務執行役員……………	廣瀬 恒治		
取締役 兼執行役員……………	矢野 達司		
監査役(常勤)……………	平田 政和		
監査役(常勤)……………	秋山 一		
監査役……………	清水 順三		
監査役……………	上野 観		

(注)  
1. 取締役 松井 英樹氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役 平田 政和氏、清水 順三氏および上野 観氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## ●会計監査人 (平成20年9月30日現在)

新日本有限責任監査法人  
(新日本監査法人は、平成20年7月1日をもって新日本有限責任監査法人に名称変更いたしました。)

## ●事業所 (平成20年9月30日現在)



本社・研究所(京都市東山区)

桂研究所(京都市西京区)

東京支社(東京都中央区)

大阪支社(大阪市中央区)

営業所: 東京(東京都中央区)・大阪(大阪市)・名古屋(名古屋市)・北陸(富山市)・中国(広島市)・西日本(福岡市)

工場: 名古屋(愛知県東海市)・衣浦分工場(愛知県半田市)・鹿島(茨城県神栖市)・京都(京都市)

## ●WEB/IR情報

最新の情報は当社ホームページでもご覧いただけます。



ホームページアドレス <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

●三洋化成グループの状況 (平成20年9月30日現在)

【国内】

	会社名	主要な事業内容
連結 子会社	サンダイヤポリマー株式会社	高吸水性樹脂の製造、販売
	サンノブコ株式会社	界面活性剤等の製造、販売
	サンケミカル株式会社	ポリウレタンフォーム原料、洗剤・ 香粧品原料等の製造、販売
	サンアプロ株式会社	特殊化学品等の製造、販売
持分法 適用会社	株式会社サン・ベトロケミカル	合成ゴム原料の製造、販売
	三洋運輸株式会社	運送業
	株式会社サンリビング	不動産業、保険代理店業他
	名古屋三洋倉庫株式会社	倉庫業
	塩浜ケミカル倉庫株式会社	倉庫業

【海外】

	会社名	主要な事業内容
連結 子会社	サンヨーカセイ(タイランド)リミテッド	界面活性剤等の製造、販売
	サンナム・コーポレーション	米国子会社の統括会社 親油系高分子薬剤、ウレタン関連製品 等の販売
	サンヨーケミカル・アンド・レジンスLLC	親油系高分子薬剤等の製造
	サンヨーケミカル・テキサス・ インダストリスLLC	ウレタン関連製品の製造
	三洋化成精細化学品(南通)有限公司	界面活性剤等の製造、販売
	三大雅精細化学品(南通)有限公司	高吸水性樹脂の製造、販売
持分法 適用会社	三洋化成(上海)貿易有限公司	三洋化成精細化学品(南通)有限公司と 三洋化成の製品の販売およびマーケ ティング、中国原料の調達
	サンライズ・ケミカルLLC	合成ゴム原料の製造、販売
その他	韓国三洋化成株式会社	三洋化成の製品の販売およびマーケ ティング、製品開発活動、技術サービス
	サンノブコ(上海)貿易有限公司	サンノブコ(株)、韓国サンノブコ(株)、三 洋化成(上海)貿易有限公司品の技術サ ービスおよびコンサルティング業務
	韓国サンノブコ株式会社	建材、セメント、モルタル、紙、塗料用の 各種工業用薬剤の製造、販売
	大祥化成股份有限公司	水溶性ポリマー等の製造、販売
	サンヨーカセイ・ブラジル	当社製品の製造技術・ノウハウの提供と 販売活動の支援

株主メモ

決算期……………3月31日  
 期末配当基準日……………3月31日  
 中間配当基準日……………9月30日  
 定時株主総会……………6月下旬  
 株主名簿管理人……………中央三井信託銀行株式会社  
 東京都港区芝三丁目3番1号

郵便物送付先  
 電話照会先  
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)  
 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

同取次所……………中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店  
 公告掲載……………ホームページ <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>  
 上場証券取引所……………東京・大阪(コード番号 4471)

株券電子化実施前後の単元未満株式の買取・買増の取扱いについて

平成21年1月5日(月)から、上場会社の株券電子化が実施される予定です。これに伴い、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預けられていない株主様に関しまして、以下の期間取扱いを変更させていただきます。

- 1.単元未満株式の買取請求につきましては、平成20年12月25日(木)から平成21年1月4日(日)(実質平成20年12月30日(火))までに受付したものの買取代金の支払は平成21年1月26日(月)とさせていただきます(買取価格は買取請求書類が名義書換代理人(含 取次所)に到達した日の終値となります。なお、平成20年12月30日(火)までに値がつかない場合は、請求書を返却させていただきます)。また、平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までの間、単元未満株式の買取請求の受付を停止します。
- 2.単元未満株式の買増請求につきましては、平成20年12月12日(金)から平成21年1月25日(日)までの間、受付を停止します。

なお、ほふりに株券を預けられている株主様に関しまして、株券電子化直前に買取請求・買増請求の受付停止期間が設けられますが、詳細は取引証券会社に確認ください。

株券電子化実施後の手続のお届出先について

株券電子化実施に伴い、上場会社の株券はすべて無効となり、株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されますので、株券電子化後の住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等の届出先が、以下のとおり変更となります。

- ①ほふりに株券を預けられている株主様……………取引証券会社等
- ②ほふりに株券を預けられていない株主様……………特別口座を開設する  
下記口座管理機関  
(証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めまして、届出を受付けることができるのは、口座開設予定日であります平成21年1月26日(月)からとなります。)

記

- 口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同照会先 (郵便物送付先) 電話照会先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
- 同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

なお、未払配当金の支払は、これまでどおり株主名簿管理人に請求ください。





## 三洋化成工業株式会社

### 本社・研究所

〒605-0995  
京都市東山区一橋野本町11-1  
TEL:075-541-0255 (総務ダイヤルイン)

### 東京支社・東京営業所

〒103-0023  
東京都中央区日本橋本町1-5-6 第10中央ビル  
TEL:03-5200-3400 (総務ダイヤルイン)

### 大阪支社・大阪営業所

〒541-0053  
大阪市中央区本町1-8-12 日本生命堺筋本町ビル10階  
TEL:06-6267-3410 (代表)

### ホームページアドレス

<http://www.sanyo-chemical.co.jp/>



レスポンシブル・ケア<sup>®</sup>

当社は環境と安全の確保を  
経営の優先的重要課題にしています。